



## ち 血がひとりでに止まるのはどうして

### ち なか 血の中に、ち かた 血を固めるものがふくまれているため

ち けつえき 血(血液)は、けっかん そと で、しぜん かた 自然に固まるようにできています。けがをしてち がでても、ち と 血が止まるのはそのためです。ち なか 血の中には、いま 今わかっていただけでも、13種類ものち かた 血を固めるものがふくまれており、けがなどでけっかん やぶ 血管が破れると、それらがつぎつぎ で出てきて混じり合い、ち かた 血を固めるものをつくりだ 出していくのです。

ち なか 血の中にはけっしょうばん 血小板というものがあり、この中に、13種類のち かた 血を固めるためのものうちの、一つがふくまれています。けっしょうばん 血小板はとてもこわれやすく、けっかん やぶ 血管が破れて、けつえき 血液がけっかん そと で出るようなときには、そのショックでこわれてしまいます。このとき、ち なか 中に入っていたものがで 出て、ほかのものとま あ 混ざりあいます。ま あ 混ざり合うと、いと 糸のようなものがつぎつぎ でからみ合い、あ それがけっかん やぶ 血管の破れたところをふさぐために、ち と 血が止まるのです。

### ち なか 血の中に、ち かた 血を固めるものがないと

ち けつえき 血(血液)を固めるための13種類のものは、けつえき ぎょうこいんし 血液凝固因子とよばれるもので、13種類のうち一つでもか 欠けると、けつえき かた 血液は固まらなくなります。けつゆうびょう 血友病というびょうき 病気は、この13種類うちの、あるものがか 欠けたために起こるびょうき 病気です。(監修・保志 宏)

